

## サンダカンの旅

2/18(月)に友人と二人でラナウからサンダカンへ2泊3日の旅に出かけました。ラナウからロングバスで行くことにして予約しようとしたが、生憎、予約を扱うラナウのインフォメーションセンターが土曜日の午後以降日曜日まで閉まっていることが分かり、月曜日に、早めにバス停に行き待ちました。予定時間に遅れること20分、ほぼ満席のバスが到着し、どうにか乗ることができましたが私は最前の助手席。そこで帰路分は到着してすぐに購入しましたが、最後尾にあるトイレの芳しくない臭いが気になったので前方の座席を予約した方が良かったと思っています。ラナウからサンダカンの予定所要時間は4時間ですが、往復とも30～60分遅れました。料金はバス会社毎に違うようでRm30～35です。ロングバスターミナルから市街地までは車で10分ほどです。



インターネットのホテル予約サイト AGODA で予約した「ホテル・サンダカン」(089-221-100)は町の中心にあり何処に行くにも便利でした。1泊朝食付きで Rm170 の部屋でした。ダブルベッドが2つあり、シャワーだけではなくバスタブが付



いておりウォシュレットの原型のようなトイレもあり快適でした。

小休止して町中を散策し、生鮮市場見学をしました。広い構内に沢山の野菜果物売場があり、奥には新鮮な魚介類売場がありました。翌日、翌々日も早朝にここを見学しましたが活気があり見る価値がある所です。なお、この市場の2、3階はレストランになっています。

夕食はガイドブック「地球の歩き方」に掲載されている海鮮レストラン「オーシャン・キング」(089-618-111)へホテルで手配をしていただいたタクシーで向かいました。ロブスターの刺身や高級魚ハタの蒸し物、さらに牛肉、鳥肉料理、ビール

と贅沢を極めました。伊勢海老の頭部や尻尾の部分はスープにしてくれ、これがまた絶品でした。料金は二人で約 **Rm460** でしたが安く感じられ大いに満足しました。

タクシーを待たせていたので ホテルへの戻りは楽でした。このタクシー運転手は英語も理解でき誠実であることが気に入ったので、行程の最後まで付き合ってくださいことにし、大いに助かりました。彼の名前は **Haji** で携帯電話番号は **019-8070-274** です。当地を訪られる時には頼まれると良いと思います。

翌日は (1)Orangutan Rehabilitation Centre (2)Rainforest Discovery Centre (3)War Memorial Park を見学しました。

ツアーに参加すると 1 人 **Rm350** が必要であるということでしたが、**Haji** に頼んだことにより 1 人 **RM113** で済みました。(1)は熱帯雨林の開拓により今や絶滅危惧種に指定されているオラウータンの親と離れた幼児をここで育て自然に帰す施設です。1 日 2 回(10 時と 14 時)の餌やりに集まってくるオラウータンを見物出来ます。餌場



が少し遠いので、双眼鏡や望遠レンズなどの準備が必要でしょう。入場料は **Rm30**、カメラ持ち込み料 **Rm10** が必要です。(2)では地上 **40~50m** の高さの熱帯雨林の樹冠に架かっている橋を歩行することが出来ます(キャノピー・ウォーク)。地図に従い雨林の中をトレッキングするコースもあります。どちらも自然を満喫でき有意義な時間を過ごせると思います。蚊やヒルがいるので防虫対策が必要です。入場料は **Rm30** でした。(3)は日本軍の捕虜収容所跡地を利用した公園です。「死の行軍」(説明省略)の展示場や記念碑があります。展示物が必ずしも公平ではないという意見もありますが、一見の価値はあります。入場は無料です。

夕食は **Haji** に紹介された別の海鮮レストランに行きました。町から数キロ離れた海岸一帯が水上集落になっている所があり、その中の中国料理レストランです。今回は贅沢しないメニューを選択したら二人で **Rm130** と大変安い料金で済ませることができました。

最終日は日本人墓地へ行きました。広大な中国人墓地のその奥にひっそりと存在していました。明治・大正時代の「からゆきさん」(小説になっています)の眠るところで、訪れる人も少ない荒れ果てた墓地でした。そしてイギリス生まれのアメリカ人小説家アグネス・キースが住んでいた家を見学(**Rm15**)し近くにある「イングリッシュ・ティーハウス&レストラン」で昼食をとりました。バスの時間に余裕があったので **Haji** が中国寺院に案内をしてくれました。「サム・シンクン寺」で三体の聖人を祀ってある広大な寺でした。これですべての行程を終え、ロングバスでラナウに向かい無事到着しました。皆さんが我々の帰りを待っていて下さり、スラゴンホームステイと一緒に賑やかな夕食をとりました。充実した **3** 日間を過ごすことができました。サンダカン、そこは再訪したい町です。